

きれ¹たとう

切¹畳紙

【意味】〔名〕〔たとう〕は厚紙を折りたたんだ小物入れの意 小切（こぎれ）を入れる畳紙。

*金色夜叉（1897-98）〈尾崎紅葉〉前・五「宮は故（わざ）と打背（うちそむ）きて、裁片畳（キレタタフ）の内を撈（かきさが）せり」

【参照辞書辞典】『日本国語大辞典』 小学館